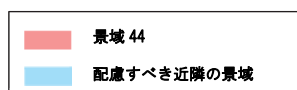


景域 44 東御旅町・西御旅町界隈



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

神崎川に沿った開放的な河川空間と工業地、住宅地が共存する景観

地形

平坦な地形で、神崎川沿いには広々とした水辺のオープンスペースが広がっています。

歴史

大正期以降に神崎川の水運を利用した工場が立地し始め、その後は軍需工場、現在は化学系の工場などが立地しています。

土地利用

多くは工場や流通系の施設、業務施設などで、一部に住宅もあります。敷地の緑化や外壁の工夫などもみられます。

都市活動・暮らし

工場や業務施設では多くの人が働き、経済を支える活発な企業活動が展開されています。また、神崎川沿いに立地する企業が参加する神崎川畔企業連絡会がアドプトリバーの団体認定を受け、河畔の清掃やイベントなどの活動を行っています。



神崎川沿いの景観



幹線道路沿いの業務施設

対岸からの見え方にも配慮し、地域に溶け込み人々に親しまれる 潤いある産業景観をはぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 建物の圧迫感を抑えたり、敷地内が雑然としないよう配慮し、快適に働ける市街地空間をつくる。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、潤いのある景観の形成に努める。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物や川に架かる橋などは、水面に映えるような演出に努める。
- 照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 37, 40, 45